

- | | |
|--------|--------------------------|
| ● ひびき | ① ノドもとすぎても |
| ● 組合行事 | ② 第54回関西電気工事工業会通常総会 |
| | ④ 各府県総代会 |
| ● 青年部 | ⑪ 第4回関西電気工事工業会青年部連合会通常総会 |
| ● お知らせ | ⑪ 一般用電氣工作物調査業務実施結果 |
| ● 情報 | ⑫ 「シンセツくん」を活用してみませんか |
| ● ひろば | ⑬ 日本人と酒文化 |



天誅組終焉之地（奈良県東吉野村）

文久3年8月17日（1863年）五條で決起した天誅組は幕府軍によって40日余りで壊滅したがこの騒動が「維新の魁」となった。
今なぜ天誅組なのか・・150年前に全く自分の利益は考えず、国のために、みんなの為に命を捨てて行動をおこした若者たちがいたという事実。
その義を偲び、記念碑など村内には天誅組ゆかりの寺院や墓所が点在しています。

- ひびき ① ノドもとすぎても
- 組合行事 ② 第54回関西電気工事工業会通常総会
- ④ 各府県総代会
- 青年部 ⑪ 第4回関西電気工事工業会青年部連合会通常総会
- お知らせ ⑪ 一般用電気工作物調査業務実施結果
- 情報 ⑫ 「シンセツくん」を活用してみませんか
- ひろば ⑬ 日本人と酒文化



ノドもとすぎても



和歌山県電気工事工業組合
かりや みちお
理事長 狩谷典男

私を含めて和歌山県人の多くは、津波に関係した情報にとても敏感だ。それでも自宅や就労拠点が海岸から5～6キロメートル以上離れていたり（2004年のスマトラ島西方沖地震津波の教訓）、海拔30メートル以上で生活する人々と津波の恐怖を共有することはむずかしい。

日本国民はみな、津波襲来地域の悲惨さを忘れてはいけないし、加えて国家の存立を危うくすることも肝に銘じておかなければならぬと思う。

近世末期に、3年連続で江戸を襲った複合災害により幕藩体制が弱体化して、明治維新の引き金となった。被災各藩への資金の貸付などの復旧事業費の出費、旗本御家人や被災者への支援、江戸市中の復興などで、徳川幕府の財政はきわめて深刻な悪化をきたしたのだ。尊王攘夷運動の発展的経過の末の滅亡とはいえない有様だ。

- 1854.12.23 安政東海地震 (M8.4)
- 同年 12.24 安政南海地震 (M8.4)
※ 32時間差で来襲
- 1855.11.11 安政江戸地震 (M6.9)
※死者約1万人、全壊・喪失1.4万戸

● 1856.9.23 安政江戸暴風雨（台風）

※東京湾で巨大高潮、

江戸市中18万棟中、潰家約15万棟以上

さて、首都直下地震対策と南海トラフ巨大地震対策の検討を行っている国のワーキンググループは、両災害が30年以内にきわめて高い確率で発生し、両方合わせて400～600兆円の被害額をもたらすと想定した。南海トラフ巨大地震の場合、震度6弱以上の被災地人口が約4,700万人、想定死者数13～40万人、災害救助法が29都道府県約680市町村に及ぶという。まさに国難である。

友人と私の酒場談議。

「どうやっても助からんやろ。津波対策なんて話にならんよ」

「生き残ってもどこで避難生活するんや。国が危ないというときに伝染病の蔓延、治安の悪化や。生き延びるのはしんどいで」

津波の襲来はあと少なくとも10年以上待ってほしい。そのころには実効のあがる官民の対策コンセンサスが醸成されていると期待したい。70才台半ばに近づいている私は果して頑健でいるのだろうか。

参考文献

- 2004年インドネシア・スマトラ島西方沖地震津波の教訓：
都司嘉宣（東京大学地震研究所助教授）2005.8.4
- 「国難」に備える～南海トラフ巨大地震と首都直下地震：
河田惠昭（南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググル
ープ主査）京大土木会総会特別講演 2012.6.16

第54回 関西電気工事工業会通常総会



向山会長挨拶

平成26年6月9日（月）関西電気工事工業会の第54回通常総会を大阪市北区の「ウエスティンホテル大阪」において会員29名、来賓5名のご出席のもと、栗田事務局長の司会により開催されました。

初めに向山会長からは、「ご来賓および会員のご出席ならびに平素のご支援ご協力に感謝申し上げるとともに、組合員の減少傾向から各府県の財政基盤が脅かされる事にもなっており、一般用電気工作物調査業務の受託は収益にも繋がっていることから、前向きに取り組んで頂きたい。また、本日は工業会事業、運営について忌憚のない意見を頂き、有意義な場となるようにして頂きたいと思います」とのご挨拶を頂きました。

中部近畿産業保安監督部近畿支部の山下電力安全課長からは、今夏の需給見通しの紹介があり、「特に西日本では東日本から融通を受けなければ最低限必要な予備率が確保できない状態であり、近畿支部

としても電力安定供給に資する火力発電所等の保安確保、供給確保に努力していきたいと思っている。関係される皆様には昨年同様引き続き省エネ等への協力をお願いしたい。

電気事故について、昨年度は電気工事の施工不良が起因した感電死亡事故も発生している。電気関係者として電気事故防止のために法令に定める施工方法の遵守をお願いしたい。8月に実施される「電気使用安全月間」では、貴工業会として種々の取組を実施され、電気保安を実践して頂いておりますが、今後とも電気工事業者の相互啓発、指導育成にご尽力頂きたい」とのご挨拶を頂きました。

本年は議長に京都府電気工事工業組合の植田副理事長が指名され、議場の承認を得て議事に入りました。

議事は議案書に基づいて進められ、第1号議案、第2号議案、第3号議案は原案通り承認されました。

最後に西野副会長よりご来賓各位、会員各位へ通常総会ご出席頂き熱心に審議頂いたことにお礼を申し上げ総会は終了しました。

総会終了後は、同ホテルで懇親会を開催しました。お忙しい中を関西電力(株) 電力流通事業本部副事業本部長の石原氏に出席を頂きました。石原副事業本

部長からは関西電力(株) 各支店と各府県電工組との間で非常災害時における設備調査等に関する協定締結についてお礼を頂き、今後とも電気工事業会と連携を密にしていきたいとのご挨拶を頂きました。その後来賓各位、会員各位との有意義な情報交換の場となりました。

平成26年度事業計画

- (1) 一般用電気工作物の調査業務の推進
- (2) 施作品質の維持・向上
- (3) 新技術の習得、設計技能の向上施策
- (4) 電気保安向上施策の推進
- (5) 組織の連携強化、活性化
- (6) 青年部活動の活性化
- (7) 広報活動
- (8) 全日電工連の共同実施



山下電力安全課長挨拶



石原副事業本部長挨拶

各府県総代会

◆おおさか

大阪府電気工事工業組合

第49回通常総代会・技術協会第44回通常総会開催



総会全景



西野理事長

5月23日（金）午後2時より、大阪市中央区のスイートホテル南海大阪8階「浪華」にて『大阪府電気工事工業組合第49回通常総代会・(職)大阪府電気工事技術協会第44回通常総会』が開催されました。当日はご来賓、業界関係者、組合員等昨年の出席者を超える315名が参加されました。

また懇親会ではご出席者の方々へ大電工 特別部会による「新規組合員様入会ご案内のリーフレット」のご紹介とお願いを行いました。



懇親会挨拶



電工兄貴

◆きょうだい

京都府電気工事工業組合



総代各位



松井理事長

京都府電気工事工業組合第57回通常総代会を5月23日（金）午後2時より京都市下京区のホテルグランヴィア京都にて、総代124名（委任状を含む）の出席を得て開催しました。

定刻に上支部の中西総代の司会により出席者数の報告がなされ総代会は成立、植田副理事長の「開会のことば」で開会、冒頭に平成25年度に亡くなられた物故者の方々に黙祷を捧げた後、松井理事長が挨拶、ご来賓各位にご臨席の謝辞が述べられました。



総代各位採決

平成26年度事業計画

- (1) 組合組織、財政基盤の強化
- (2) 電気保安業務の推進と普及啓発
- (3) 電気工事従事者の技術向上のための事業
- (4) 雇用ミスマッチ対応型安定雇用創出事業
(グリーンイノベーションを担う人づくり事業) の取組み
- (5) 組合員に対する福利厚生事業の推進
- (6) 職業訓練法人ケーイーサー・京都電気技術専門学院との連携
- (7) 広報事業の充実とIT推進委員会の活動推進
- (8) 防災協定に基づく活動
- (9) 電気自動車用充電設備設置工事業務への取組み
- (10) 関係機関、団体との連携強化

議事に先立ち、役員功労者4名、総代功労者5名、永年勤続優良従業員6名及び組合員増強運動功労者1名に対し、京都府知事、京都市長、京都府中小企業団体中央会会长、全日電工連会長並びに当工業組合理事長から表彰状が贈呈され、続いて京都府知事、京都市長、京都府中小企業団体中央会会长、関西電力(株)京都支店長の各来賓よりご祝辞をいただいた後、議長に伏見支部の山岡総代、副議長に福知山支部東総代、上支部の山本

●総代会

総代、下支部の湊総代を指名し議事に移りました。第1号議案から第11号議案まで慎重審議の末、全てが原案通り可決承認されました。

総代会終了後、懇親会を開催。京都府議会議員の小巻實司氏から祝辞を頂戴、相談役の岡本博氏の乾杯で開始した懇親会は、終始和やかな会となりました。



会 場



第51回通常総代会

- 議案原案どおり可決承認 -



向山理事長挨拶

第51回通常総代会は、さる5月27日（火）午後1時から、兵庫県電気工事技術会館において開催されました。

坂元副理事長の司会進行で定刻どおり開会し、最初に金川副理事長の開会のあいさつで始まり、その後平成25年度中に亡くなられた組合員の方々に対して黙祷を捧げ、ご冥福をお祈りしました。

総代会に先立ち、組合功労者及び優良従業員の表彰を行い、それぞれの受賞者に向山理事長から表彰状と記念品が贈呈され、功績が讃えられました。

【議長団】

淡路支部

中村電工(株) 中村 佳史 氏

社支部

中町電業(株) 梅田 雅広 氏

【上程議案】

第1号議案=平成25年度事業報告及び決算関係書類承認の件

第2号議案=平成26年度事業計画（案）及び収支予算設定（案）の件

第3号議案=平成26年度賦課金額及び徴収方法の承認の件

第4号議案=平成26年度借入金最高限度額設定の件

第5号議案=役員報酬額決定の件

第6号議案=組合員除名の件

第7号議案=本日の議決事項中、本旨に反せざる字句の訂正について 議長に一任の件

以上の7議案を議長から順次上程され、それぞれの議案について執行部から提案説明を行い、総代による質疑と審議の後、議長による採決が行われ全議案原案のとおり全会一致をもって可決承認され

ました。

最後に篠原副理事長の閉会のあいさつで、総代会を終了しました。

◆なま

奈良県電気工事工業組合

第68期 奈良県電気工事工業協同組合 第36期 奈良県電気工事工業組合

通常総代会開催



奈良県地域振興部エネルギー政策課 平田課長挨拶 (通常総代会の模様)

平成26年5月23日（金）午前10時30分より組合大會議室において通常総代会が開催されました。水野副理事長の司会により開催宣言され、尾上理事長挨拶に続き、御来賓の奈良県地域振興部エネルギー政策課 平田課長よりご挨拶を頂きました。

その後、司会者より代議員出席状況（現在組合員数270名、代議員数26名、出席者数20名、委任状6名）の報告が有り、総代会の成立が宣言されました。

司会者の指名により、山口直巳奈良支部代議員が議長となり議事が進行し、「平成25年度事業経過報告・決算報告並びに監査報告」「平成26年度事業計画（案）並びに収支予算（案）」「平成26年度借入

金の最高限度額」について慎重に審議され、全ての議案が原案通り承認・可決されました。

正午より御来賓を迎える懇親会を開催。福本副理事長司会のもと、御来賓を代表して奈良県中小企業団体中央会 橋本専務、関西電力(株)奈良支店 お客様さま室 奥村室長よりご祝辞を賜り、和やかに懇親会が開催されました。

【平成26年度事業計画】

デフレスパイアルから長期に渡り脱却出来ず我々国民の生活を惑わす事様々ですが、アベノミクスから若干景気の回復基調であると一部では評価されますが、我々一般庶民には其の感は無く厳しい環境からの救い手は見当たりません。時代と共に人口の減少や少子高齢化が進み労働者や後継者の窮する中、私共の立場は誠に持て苦する所でもあろうかと考えます。

変革する時代に相応した電気関係を追求し、エネルギー内容も大きく変動する折、与えられた責任と安全安心を本質に目的とし、事業計画に基き組織の強化や互いの情報交換を密に共存共栄への心情を持って努めたいと考えるところであり、皆様各位の御指導、御協力を期待し本年度事業に向け努力して参ります。



尾上理事長挨拶 (懇親会の模様)

●総代会

【平成26年度取組み事業】

1. 営業力強化活動の取組

- (1) 一般用電気工作物調査の充実した運営
- (2) 顧客の立場に立った提案型技術営業強化
- (3) 一般用電気工作物の点検業務受託業務
- (4) 小工事処理「でんき工事ホームセンター」の取組強化

2. 技術向上の取組

- (1) 電気工事関連各種資格取得対策
- (2) 電気工事技能競技大会
- (3) 品質向上への維持意識の高揚

3. 組合組織の強化

- (1) 組合員の増強促進
- (2) 青年部の活性化と連携態勢
- (3) 内線工事研究会の内容の充実

4. 関係団体との取組

- (1) 電気工事士免状発行業務委託確保へ向けて努力
- (2) 災害時に於ける電気設備の「応急復旧」支援協定
- (3) 県、中央会、関西電力、保安協会、管理技術者協会、他 各諸団体との連携強化

5. 全日電工連委託事業

- (1) 第一種電気工事士定期講習
- (2) 電気自動車（EV）用充電設備設置工事
- (3) オリックス自動車オートリース

6. 福利厚生

- (1) 労働保険事務組合
- (2) 全日（第三者損害賠償制度、業務災害賠償制度、グループ共済制度）
- (3) 全日国民年金基金制度

◆しが

滋賀県電気工事工業組合

第51期総代会



鹿野理事長 総代会 開会の挨拶

滋賀県電気工事工業組合第51期総代会が、平成26年5月16日（金）午後3時30分より、「クサツエストピアホテル2階 瑞祥の間」において開催されました。

最初に平成25年度中の組合員関係の物故者に対して黙祷が捧げられ、続いて鹿野理事長の「開会の挨拶」がありました。その中で組合関係各位のご出席に対して謝辞が述べられると共に、組合運営に当たり総代の方々をはじめ組合員各位のご理解ご協力を頂いたことに対し感謝のことばが述べされました。引き続き、平成25年度「電気温水器等販売コンテ



総代会風景



販売コンテスト表彰風景

スト」入賞者の表彰式が行われました。その後休憩を取る間もなく、議案審議に移っていました。

まず事務局より、総代会の出席者20名、委任状出席者23名の合計43名で、総代44名の過半数の出席となり、総代会は有効に成立した旨報告がありました。続いて議事進行に当たっての議長選出が行われ、湖南支部内田誠氏が選出され、提出議案の審議が行われました。提出された議案は慎重に審議され、全議案は原案のとおり可決承認されました。

総ての審議が終了し、内田議長は審議協力についての謝辞を述べ、降壇されました。最後に、藤本副理事長の閉会のことばをもって総代会は無事終了致しました。

平成26年度事業計画

1. 組織の強化
2. 福利厚生事業の充実
3. 情宣・広報事業の充実
4. 技術教育事業の充実
5. 内線工事研究活動の充実
6. 青年部の育成強化
7. 防災協定に伴う体制づくり
8. 社会貢献事業
9. 他府県電気工事工業組合との情報交流

◆わかやま

和歌山県電気工事工業組合

第42回 通常総代会 開催



狩谷理事長挨拶

和歌山県電気工事工業組合は平成26年5月23日（金）午後1時30分より、和歌山市友田町のホテルグランヴィア和歌山において、第42回通常総代会を開催しました。

今年度から新しく着任しました山本事務局長の司会進行のもと、はじめに狩谷理事長の開会の挨拶が行われ冒頭に「25年度で最後になる関西地区配線設計技能コンクールが2月14日に開催されましたが、当日は大雪に見舞われとても想い出に残る大会になりました。それにもまして和工組が団体で1位、個人でも最優秀賞を含む入賞が3名という素晴らしい成績を挙げられ、

有終の美を飾った選手のみなさんに感謝いたします。」と述べられ、続いて平成26年度より一般用電気工作物調査業務の田辺調査センターが新たにスタートし、関係役員の方々への感謝の言葉も述べられました。

また関西電力(株)和歌山支店と全国で初めて「非常災害時における設備調査等の協力に関する協定」を締結しましたが、今年度から具体的な行動指針を決めていきたいという強い決意もされました。

引き続き議案審議に先立ち、優良組合員表彰が執り行われ多年にわたり熱心かつ模範的な事業実績を積まれた優良組合員14名へ感謝を込めた表彰式とな

りました。

その後、議案審議に入り第1号議案から第7号議案までの審議を行い、厳正に審議した結果、全案が原案通り承認されました。

議案の審議終了後、再び狩谷理事長より「今後も組合の経営安定化、皆様が誇りをもって業務に従事出来ますよう社会貢献のプログラムを実施して参ります。その為には組合員の皆様の応援が不可欠であります。今後ともご支援、ご協力いただきたい」と述べられ総代会は滞りなく閉会しました。

平成26年度事業計画

1、経営の安定化と社会的地位の確保

- ①後継者育成と青年部の育成支援
- ②新規組合員の加入促進
- ③第1回電気工事技能競技全国大会への参加
- ④「提案型技術営業研修会」の推進

2、電気保安の確保

- ①「電気使用安全月間」行事の充実と推進
- ②一般用電気工作物の調査業務の実施（竣工調査、定期調査）
- ③一般用電気工作物点検業務の契約推進
- ④内線工事研究会との連携(電気工事品質向上対策への協議と対応)
- ⑤「でんき工事ホームセンター」の迅速化と業務の拡大

3、教育指導事業

- ①第一種電気工事士定期講習会の実施と受講徹底
- ②第一種・第二種電気工事士試験の受験対策講習会の支援

- ③電気工事に関連した新システムの施工に必要な資格取得の推進

4、福利厚生事業

- ①全日電工連総合補償制度の加入促進と運用
 - (1)弔慰金・見舞金制度の運用
 - (2)第三者損害賠償制度の運用
- ②全日電工連グループ共済制度の加入促進と運用
- ③全日電工連業務災害補償制度の加入促進と運用
- ④全国電気工事業国民年金基金の加入促進
- ⑤「一人親方」の労働保険の加入促進

5、情報提供事業

- ①広報紙「あかり」の充実と発行
- ②業界及び電気工事業関連資格情報の早期提供

6、専門工事業安全管理活動の推進

- ①安全衛生法に基づく特別教育の開催

7、組織の合理化と業務の管理徹底

- ①登録・届出手続き等の完全実施



優良表彰

関西電気工事工業会青年部連合会 第4回通常総会

関西電気工事工業会青年部連合会では平成26年6月20日（金）17時より、滋賀県大津市にある琵琶湖汽船「ビアンカ」船上で第4回通常総会が実施されました。

宮原幹事長の司会により進められ、まず物故者への黙祷を捧げ、林青年部連合会会長の挨拶の後、会長を議長として議案審議に入りました。各議案とも賛成多数により承認され総会は無事終了いたしました。総会終了後、「ビアンカ」は浜大津港を出港して琵琶湖周遊となり、船上で琵琶湖の雄大な風景を眺めながら出席者58名の懇親会となりました。



青年部総会参加者

●平成25年度一般用電気工作物調査業務実施結果●

関西電気工事工業会における2府4県の電気工事工業組合が、平成25年度に実施した一般用電気工作物の竣工調査29,449件、定期調査271,438件の結果について、平成26年5月9日（金）に中部近畿産業保安監督部近畿支部へ「調査年報」ならびに関西電力株式会社に「調査実施結果」を提出しました。

調査結果から不適合通知の内容を見ますと接地工事不良が多くをしめるという結果がありました。

不適合通知の減少に継続した取組が必要という結果となっております。また、今年は関西電力株式会社に提出する「調査実施結果」について、従来は各府県でまちまちの様式で提出していたものを統一した様式に変更したため、各府県では作成に手間が掛かったことと思いますが、様式を統一したことにより各調査センターの実績比較が容易となりますので、業務改善の参考になればと思っております。

「シンセツくん」を活用してみませんか

ご存じの方も多くおられると思いますが、関西電力(株)には電気使用申込みにインターネットを活用した「シンセツくん」というものがあります。

電気使用申込みは電力会社の営業所窓口へ訪問して申込みを行うところを、24時間自分の都合の良い時間帯に事務所(自宅)から申込みが出来るものです。混み合った窓口で長時間待つこともなく仕事の効率化にも役立つことと思います。この「シンセツ

詳しくは関西電力(株)のホームページ

URL <http://www.kepco.co.jp/corporate/info/community/>

をご覧になるか、関西電力(株)営業所窓口でお問い合わせ下さい。

くん」を活用するためには事前登録が必要ですので、申込用紙は関西電力(株)のホームページからダウンロードして営業所窓口または郵送で申込みをして下さい。

また、今年度から「シンセツくん」の操作に関する問い合わせ専用サポートダイヤルも出来、より使いやすくなりましたが是非ご検討下さい。

電気工事会社のみなさまへ
インターネット
低圧工事申込み

● 関西電力

シンセツくんで カンタン便利に!

シンセツくんって何?

インターネットから低圧電気工事のお申込みをいただけるサービスです。「シンセツくん」をご利用いただくと、お申込みの際、営業所へのご来店の必要がなくなり、工事の進捗状況をインターネットからご確認いただけるようになります。

ここが便利! メリット1 わざわざ窓口に行く必要がなくなる

ここが便利! メリット2 工事の状況がインターネットから確認できる

ここが便利! メリット3 施主さまの捺印を省略できる^{※1}

ここが便利! メリット4 24時間申込み可能なので、自分の時間で申込みできる^{※2}

ここが便利! メリット5 過去の申込み内容を活用できる

ここが便利! メリット6 申込みした内容をデータで保管・印刷ができる

※1 あらかじめ施主さまの承認を得たうえで、お申込みをいただく必要があります。※2 システムメンテナンスの都合等により、ご利用いただけない場合があります。



日本人と酒文化

兵庫県電気工事工業組合 副理事長 坂元 宣之



先日友人とお酒を飲みに行った帰り、転んで頭を打ちました。幸いなことに怪我はありませんでした。どうも日本人は酒に対して甘くなります。未だに自動車の飲酒運転が減少しないで社会問題になるのは何故でしょうか。

欧米では飲酒して問題を起こすとその人は自己管理ができないとみなされ、たび重なるとそんなには責任ある仕事を任せられないと言われます。

東洋において言えば中国では宴会の時、乾杯を繰り返しお客にしたたか酔ってもらうのが礼儀とされ、主人はそんなに酔いません。しかし日本ではともすればもてなす方も酔ってしまう事が有るのは原因なのでしょうか。

日本人と酒の関わりは神との関わりの歴史でした。ハレ*の日の行事として古来より集団の宴がありました。そして酒が神を慰めるという宗教的儀式があったのです。

江戸時代以前は常に酒が手に入るのではなく、祝宴のため日ごろ酒を飲まず蓄えてハレ*の日に一気に飲み干すのでした。それは一人で飲むのではなく必ず皆集まって酒盛りをするのです。飲み方もめいめいの小さな杯ではなく、大杯で回し飲みをしたのです。このような場で飲みつぶれる事は主人の歓待の大きさを示すものでした。その時代では一人で飲むことは惨めで無作法なこととされました。ちなみに居酒屋の「居酒」とはその様な宴に招待されないその家の奉公人が主人宅では飲めないので酒を買っ

て帰れず、そこで飲むと言う意味があります。また手酌はしません。一人手酌酒と言うのは村の共同体から排除された都市労働者の飲み方で、今でも決して良いものとされません。

さて人は何故酒を飲むのでしょうか、昔流行ったフォークカルセダーズの『帰ってきたヨッパライ』の歌詞に「天国よいとこ一度はおいで酒はうまいし、ネーちゃんはきれいだ……。」と有る様に、酔っ払った状態こそ天国なのかも知れません。人は天国に近づくために酒を飲むのです。

神が体に降りてきたら人はさてどのように振舞うでしょうか。

東洋の人ならおそらく手を緩やかに動かし、ゆったりとそこら辺りを舞うことだと思います。これこそ酔っている姿ではないでしょうか。

この酩酊の陶酔が神と近づく手段かも知れません。宗教的儀式で酒が使われるのにはこのためです。

酒を飲むと人と人の距離が近づきお互いの警戒も解け、打ちとけて平和な気分になる。これは母と一体であった胎児期への帰還願望かもしれません。

このように日本人は古来よりお酒と関わってきました。

酒の上のことで、本日は無礼講で後は水に流す。という文化を育んできた日本。

お酒の好きな私にとって、この国に生まれ育ったことは本当に幸せだと思います。

*「ハレ」とは儀礼や祭、年中行事などの「非日常」を意味し、反意語は「ケ」で「日常」を表わす。

でんせつ編集委員会
委員長 橋詰 源治
委員(大阪) 小森 敏鑑
委員(京都) 植田 隆夫
委員(兵庫) 坂元 宣之
委員(奈良) 福本 幸一
委員(滋賀) 藤本 一矢
委員(和歌山) 吉川 幸夫

発行日／2014年8月 第174号

発行／関西電気工事工業会(2府4県)

大阪市北区本庄東2丁目3番38号

TEL 06(6371)5534・FAX 06(6371)2338

発行人／向山 和義 事務局 栗田 直訓

発行部数 7,600部 年4回(1・4・8・11月)発行

2014

NO.3

平成二十六年夏号（季刊発行）

発行所：関西電気工事工業会